

共進工業株式会社

## 環境行動計画

### 取組方針

共進工業株式会社は、現場直視で日頃から作業に対する問題意識、改善意識をもって前向きに取り組み、職場の大きな改善につながることをモットーに、また顧客ニーズにあった建設用機械部品・工作機械関連部品並びに二輪車部品・半導体の精密部品などを製造しております。

また、当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩、発展していくことを目指していきます。

このため、私たちは事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取り組みを社員一丸となって推進します。

1. 事業活動の中で省エネルギーと省資源を図り、資源の有効な利用に努めます。
2. 製造部門、事務部門における廃棄物の削減に努めます。
3. 危険物・化学物質の安全な取り扱いに努めます。
4. 5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)の徹底。

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成20年9月30日

共進工業株式会社

代表取締役社長 川田恭弘

### 3 環境負荷低減の取組

当社では、事業活動に伴う環境負荷を削減するため、その取組目標を掲げ、目標を達成するため具体的な取組を設定して取り組むことしております。  
設定した取組目標と具体的な取組項目は、次のとおりです。

#### 目標 1 二酸化炭素の総排出量を20年及び21年それぞれ3%削減する。

<b>基準年の総排出量</b>  168,579 (kg-CO2)	<b>目標年度の総排出量</b>  平成20年 163,522 (kg-CO2) 平成21年 158,616 (kg-CO2)
---	--

#### 具体的な取組

製造部門の活動	①昼休みと休憩時間には、コンプレッサー等、使用していない機械の電源を切る。 ②コンプレッサーのエア漏れを定期的に点検する。 ③昼休みと休憩時間には、工場棟の電灯を消灯する。 ④工場内の冷房温度(28° C)と暖房温度(20° C)に設定する。 ⑤作業の効率化改善により残業時間の縮小。 ⑥工場内の水銀灯を省エネタイプに交換(電球が切れた場合)。 ⑦インバータ式コンプレッサーを順次切り替える(省エネタイプ)
事務部門の活動	①事務所の空調温度を適正(冷房時28度、暖房時20度)設定。 ②昼休みの電灯の消灯を徹底する。 ③パソコンとコピー機の節電機能を活用する。 ④社用車の効率的な使用(運転経路、相乗り)を徹底する。 ⑤エアコン使用期間中は、毎月1回フィルターを掃除する。 ⑥エアコンを使用しない期間は、動力ブレーカを切る。 ⑦休日前には、パソコンのコンセントを抜く。 ⑧事務所、食堂の蛍光灯を省エネタイプに切替える。

#### 目標 2 産業廃棄物の排出物を20年及び21年それぞれ3%削減する。

<b>基準年の総排出量</b>  89(t)	<b>目標年度の総排出量</b>  平成20年 86 (t) 平成21年 84 (t)
------------------------------	--

#### 具体的な取組

製造部門の活動	①廃棄物の分別仕様をし、置き場を整理する。 ②製造工程から発生する金属屑は全てリサイクルする。 ③不良品、スクラップ製品の発生状況を記録し事務管理者へ報告する。 ④ウエス、軍手は使用限度を定め、無駄に廃棄しない。 軍手は女子担当者に洗濯をさせ再利用する。
事務部門の活動	①ごみの分別を徹底し、リサイクルに努める。 その他排出される廃棄物の重さを計り記録する。 ②再利用資源物は廃棄物管理票(マニフェスト)は事務管理を徹底する。 ③事務用ファイル、フォルダー等は繰り返し使用する。

**目標 3 コピー用紙の使用量を20年及び21年それぞれ3%削減する。**

基準年の使用量
32 (kg)

目標年度の使用量
平成20年 31 (kg)
平成21年 30 (kg)

**具体的な取組**

共通部門の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>①社内資料は両面コピー、縮小コピー、裏紙利用に努める。</li> <li>②コピー機のコピーボタンを押す前に、必ず設定ボタンを確認する。</li> <li>③電子メディアの利用によって、ペーパーレス化を推進する。</li> <li>④両面印刷、両面コピー徹底する。</li> <li>⑤使用済み用紙の裏面を利用する。</li> </ul>
事務部門の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>①廃棄物は、決められたごみ箱に分別して出す。(可燃ごみ、不燃ごみ、コピー用紙、廃プラスチック等)</li> <li>②シュレッダーの使用は機密書類に限定する。</li> <li>③ファイル、フォルダーは繰り返し使用する。</li> <li>④昼休み、退社時には必ず、照明、パソコン、、コピー機などの電源を切る。</li> <li>⑤照明の配線系統とスイッチを見直して、こまめに消灯する。</li> <li>⑥事務所内に温度計を設置し、空調機の温度を調整する。</li> <li>⑦ブラインドを活用して、室内の採光と通風を調節する。</li> <li>⑧OA機器の節電機能を活用する。</li> <li>⑨使用していない電気器具の主電源を切り、待機電力の削減を図る。</li> <li>⑩使用済みダンボール、梱包資材、荷造り紐等を分別する。</li> </ul>

**目標 4 水使用量を20年及び21年それぞれ2%削減する。**

基準年の使用量
245 (m3)

目標年度の使用量
平成20年 240 (m3)
平成21年 235 (m3)

**具体的な取組**

事務部門の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>①配管からの漏水を定期的に点検する。</li> <li>②手洗い場に節水を呼びかける標語シールを掲示する。</li> <li>③芝生散水用ホースに手元コックの検討をする。</li> <li>④水道蛇口の節水コマの設置を検討する。</li> </ul>
---------	--

**目標 5 危険物の安全管理**

**具体的な取組**

製造部門の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>①危険物及び工作油は、決められた保管場所に格納する。</li> <li>②危険物の容器の蓋は確実に閉める。</li> <li>③保管庫からの危険物の持ち出し量を記録する。</li> <li>④危険物を取り扱う社員に対して定期的に、安全教育を行う。</li> </ul>
---------	---

目標 6 一般廃棄物の廃棄物を20年及び21年それぞれ1%削減する。

基準年の総排出量
2,270 (kg)

目標年度の総排出量
平成20年 2247 (kg)
平成21年 2225 (kg)

具体的な取組

共通部門の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>①廃棄物は決めた場所に分別して出す。</li> <li>②板廃棄材は決めた場所に出して、キチント整頓する。</li> <li>③ダンボールは指定場所の金網ボックスにキチント入れ保管する。</li> <li>④ゴム手袋、軍手使用済みは、指定ゴミ箱に入れる。</li> <li>⑤使用済みの軍手及びゴム手袋は洗濯して再度利用する。</li> <li>⑥使用済みウエスはナイロン袋に入れ指定場所に出す。</li> <li>⑦紙屑、生ゴミは、分別して袋に入れ指定ゴミボックスへ出す。</li> <li>⑧紙類を使用するセクションはペーパーレス化に努める。</li> <li>⑨廃棄ナイロン類は袋に入れて指定場所に出す。</li> <li>⑩一般廃棄物の問題意識、改善意識をもって削減に努力する。</li> <li>⑪廃棄物は重さを計り記録する。</li> </ul>
---------	--

目標 7 その他の取組

具体的な取組

共通部門の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>①毎月(15日)、全社員による現場総点検を行い、5Sを徹底する。</li> <li>②製品、材料、工具、資材、文房具類などは、決められた場所に設置保管する。</li> <li>③改善提案制度で、環境への取組の提案も募集する。</li> </ul>
---------	--

環境行動計画の実施体制

環境保全活動委員会(社長を委員長とする)を設け、四半期毎に取組目標の推進状況、並びに具体的な取組の実施状況をチェックする。